



意見交換を行った阿部副会長



講師の松永久調査官



障害者110番事業研修会の模様

平成26年7月11日(金)、全社協会議室(東京都千代田区)において、「障害者110番事業研修会」が開催されました。直前に接近した台風の影響などもありましたが、障害者差別禁止と合理的配慮の提供のあり方などを中心に、積極的な意見交換がおこなわれました。

障害者110番研修会開催 差別禁止と合理的配慮の提供について意見交換

中央障害者社会参加推進センターでは、障害者の権利擁護に関する相談などに対応するために、全国に設置されている障害者110番事業の担当者などを対象に、相談技術の向上、情報交換・交流などを目的に、年1回研修会を開催しています。今年度は、障害者権利条約が批准されることを受けて、差別禁止と合理的配慮の提供のあり方などを主なテーマに、講演と意見交換を行いました。

午前は、松永久(まつながひさし)厚生労働省職業安定局雇用開発部障害者雇用対策課調査官による講演「改正障害者雇用促進法に基づく差別禁止・合理的配慮の提供の在り方について」でした。障害者雇用促進法の改正(施行日平成28年4月1日)によって、すべての事業主に対して、障害者への差別の取扱いの禁止と、合理的配慮の提供が義務化されたことから、現在は施行に向けた指針づくりが進められており経緯や、6月にまとめられた「改正障害者雇用促進法に基づく差別禁止・合理的配慮の提供の指針の



台風一過の東京は快晴となった



発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)

発行人 鹿谷 安雄
東京都豊島区目白3丁目4の3
デアダンクビル4階
TEL 03-3565-3399㈹
FAX 03-3565-3349
<http://www.nissinren.or.jp>

Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)

年間購読料 正会員1部 300円
非会員1部 1000円

在り方にに関する研究会」の報告書などをもとに、想定される具体的な合理的配慮の事例などについて説明がありました。午後は、阿部一彦(あべかずひこ)仙台市障害者福祉協会会長(日身連副会長、東北福祉大学教授)をコーディネーターに迎えて差別禁止と合理的配慮の提供のあり方について、参加者と意見交換をおこないました。

参加者からはこれまで受けた相談内容から「温泉施設で入浴拒否された」「遊園地の乗り物に乗れなかつた」といった障害者の乗車に乗り物に乗れなかつたといった障害を理由とする差別的な取扱いなどの事例が報告されました。こうした取扱いの根底には障害への無理解によるものも少なからずありました。

研修会後、参加者からは「わかりやすく説明していただき、よく理解できた」「法律が理解できていなければ、まったく法を理解できていなければ、まったく法律が生かされないのだというのに、気づきました」といった感想のほか、次回の研修会への期待が寄せられました。

社会保障審議会障害者部会開催 検討会から取りまとめが報告

7月30日、厚生労働省内省議室において、第57回社会保障審議会障害者部会が開催されました。日身連からは、小西慶一(こにしきょういち)副会長が委員として出席しました。会議に入る前に、省内の異動により藤井康弘(とうい こうひろ)さんが新たに障害保健福祉部長に就任したことをはじめ、関係部署の異動について発表がありました。

議事は、①障害児支援の在り方に関する検討会報告書について、②長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策に係る検討会の取りまとめについて、③障害福祉サービス等報酬改定検討チームの検討状況について、④その他障害者総合支援法対象疾病検討会について(案)等でした。

特に注目された議事は、長期入院精神障害者の地域移行の検討会でした。平成26年3月から開催された検討会では、地域移行に向けた今後の具体的方策の方向性について、関係団体からのヒアリングも含めて議題となっていました。このことに対し、藤井部長から



社会保障審議会障害者部会の模様

べきなどの意見もありました。このことに対し、藤井部長から「地域移行の難しさをあらためて痛感している。具体的な方策に向けた検討を進めたい」と発言、部会は閉会しました。